

夢への架け橋

学校通信 文責 工



自らを磨き、輝ける2学期に

夏休みを終え、成長を実感し元気に登校した生徒が体育館で始業式に臨みました。まず、学年を代表し高水間真莉さん、平山司君、池田聖摩君が2学期へ向け抱負を発表しました。「苦手教科を得意教科にしたい」、「前に出て引っ張っていける良きリーダーになりたい」、「行事を通して学び、伝えていきたい」、「これまでの経験を生かしていきたい」、「この夏の経験から勉強の大切さがわかった」、「陸上で日本一を目指したい」など、堂々と自分の思いを語ってくれました。

式の中で、校長から『いじめや差別を許さない学校』『家庭学習の習慣化』『読書習慣の定着化』の3点を頑張っていこうと話をし、頑張りポイントとして、他人との比較ではなく、「自分で決める」こと、最大のライバルは「自分自身」であることを伝えました。

その後、学習及び生徒指導担当者からの話があり、最後は、生徒会執行部が1分前着席等、「地道なことでも確実にやるなど、日々、当たり前なことを当たり前に行う学校にしていきたい」、「みんなを引っ張っていく」と中島憂人君が力強く締めくくりました。

2学期は、一番長い学期となります。合唱コンクールをはじめ行事も控えています。友達と過ごす時間が長く、行事も多いということは、成長するチャンスも多いということです。生徒が自分を磨き、輝けるよう、力を合わせて進んでいきましょう。



【山鹿中学校HP】

ただいまホームページリニューアル中です

山鹿中学校ホームページを新しくしているため
ご不便、ご迷惑をおかけしますが、
何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

近日公開予定

くもと（やまが）の笑顔・未来を創る



夏休み期間中、心温まる前向きになれる連絡を受けました。前川寛太君が部活を終え帰る途中、猛暑の中、体調不良で座り込んでいたお年寄りを地域の方と一緒に介抱し助けてくれたとのことでした。

前川君は、「困っている人がいれば助ける。とっさに行動できた。」と笑顔で答えてくれました。